

「この本、よかった！」(138)
『15歳のテロリスト』
作：松村 涼哉

(メディアワークス文庫)

みなさんにもおすすめしたい
「くまどく本」、
今月は熊野東中学校からです。

森 みなみ (3年)

一度読み始めると止まらない、被害者家族と加害者家族の関わりを描いた小説。15歳の少年「渡辺篤人」が新宿駅爆破事件を起こした理由、全てを読み終わった時、いろいろと考えさせられる内容です。

森 誠 (父)

現在のSNSでの誹謗中傷の問題なども入っていて、とても考えさせられる内容でした。この本を読んだ時の衝撃と感動をより多くの人に味わってほしいです。



(教育総務課
社会教育グループ)

学習発表会

熊野第四小学校

11月16日(土)、『熊四子、努力の音を響かせろ！～体育館に感動を～』というスローガンのもと、学習発表会を開催しました。今年度もたくさんの保護者や地域のみなさんにご覧いただきました。

子どもたちは、これまでの学習のなかで学んだことを、学年ごとに歌や劇、呼びかけ、表現活動など、工夫を凝らして発表しました。

1年生は入学してからできるようになったこと、2年生は国語で学習した「スイミー」、3年生は総合的な学習で学んだ熊野町について、4年生は総合的な学習の時間での福祉体験学習、5年生は道徳や社会で学習したSDGsを体育の表現活動で、6年生は第四小学校の伝統の太鼓を披露しました。

熊四子たちそれぞれの『努力の音』が体育館にしっかりと響きました。



▲2年生の発表「スイミー」

(教育総務課)

コミュニティ・スクール講演会

熊野東中学校

今年度、東中学校では、コミュニティ・スクール講演会と題して、生徒が夢や希望を持って学校生活を頑張れるように、さまざまな分野で活躍されている講師を招いた講演会を行っています。

第1回(5月)の講演会には、地元出身の尾方剛さんを迎え、尾方さんの学生時代や選手時代に経験されたこと、また、その時の思いについて、お話しいただきました。講演後は、生徒からたくさんの質問があり、また、休憩中には、生徒らが尾方さんを取り囲み、いろいろな話をしていました。第2回(11月)では、広島を拠点に活動するプロ自転車ロードレースチーム『ヴィクトワール広島』の中山卓士監督、柴田雅之キャプテンから「目標を立て、その目標に向かって努力をすることの大切さ」についてお話しいただきました。代表生徒6人による自転車の乗車体験やたくさんの質問で和やかで楽しい講演会となりました。

第3回の講演会は、2月3日(月)を予定しています。



▲第2回講演会の様子

(教育総務課)

●●●●● 広島広域都市圏 広島交響楽団オーケストラ音楽鑑賞教室 ●●●●●

オーケストラや演奏曲にまつわる楽しい話を交えながら、プロのオーケストラの演奏を生で聴いてみませんか。

時 2月23日(日・祝) 14:30~15:30

所 広島市佐伯区民文化センター
(広島市佐伯区五日市中央6-1-10)

対 圏内の小学生~高校生およびその保護者
※小学生は要保護者同伴 ※未就学児の入場不可

¥ [小学生]700円 [中学生]800円 [高校生・保護者]900円
※別途発券手数料などががかかります。

定 714人

申 2月23日(日) 14:30まで
チケットぴあホームページもしくはセブンイレブン店頭でお申し込みください。
※先着順での販売になります。なお、会場での当日券の販売はありません。 詳細はこちら▼

問 広島広域都市圏協議会事務局

☎504-2017

✉kouiki@city.hiroshima.lg.jp

(政策企画課)



熊野の未来を考えるワールドカフェ

熊野高等学校

この地に (345)

熊野高校の自主活動の一環に「くま・みら・カフェ」があります。平成29年度の地域創生事業を発端に、今年で8年目を迎えました。

今年度も、TOMOT(トモチ)こと松川友和さんをディレクターに、元広島ドラゴンフライズプロバスケットボール選手の仲摩匠平さんや国際的バイオリニストの木村紗綾さん、被爆・戦争体験の継承と語り部をしている梶矢文昭さん、(株)ミチコーポレーション代表取締役であり冒険起業家の植田紘栄志さんをゲストに、トークショーを開催しました。

貴重でユニークな体験談を通して、努力と失敗を乗り越え、どのように人生を切り拓いてきたのか、その時々、何をどう考え成功に結びつけてきたのかなど、TOMOTが対談形式でゲストから引き出してくれます。生徒は、実演や説得力のある言葉に感動しきりです。

これらを将来の糧として、新たな挑戦への第一歩を踏み出してくれることを期待します。



▲仲摩匠平さん(元広島ドラゴンフライズ選手)との記念写真

問 熊野高等学校 ☎854-4155

♡ 人権とわたし

「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」
受賞作品を紹介！(Part.5)

性別に関する固定概念(ジェンダーバイアス)の解消に向けた県主催の取り組みとして、エソール広島と連携して昨年度開催された「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品を紹介します。



【作者のコメント】

私が進路を決める時に周囲に言われて、もやっとなりました。

誰もが暮らしやすい社会になることを願い、私も身近なジェンダーの問題に気づき、考えていきたいと思います。(40代・女性)



◀エソール広島ホームページ

出典：もやもや解消読本

(広島県環境県民局わたしらしい生き方応援課発行)
(生活環境課)